



町長 豊昭
坂梨

新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた平成20年の輝かしい新春をご家族でお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。また、町民の皆様には日頃から町行政に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の出来事を振り返ってみますと、世相は「偽」という漢字で表されましたが、今年には「信」という漢字で表されるような1年になることを期待しているところであります。

少子高齢化や地方分権の推進、原油の高騰など、社会経済は大きく変化しており、何かと厳しい時代ではございますが、時代の流れを見極め、柔軟に対応していくために、足腰の強い行財政基盤を構築してまいりたいと思っております。

和水町の出来事をふりかえってみますと、謎の隧道遺跡「トンカラリン」が熊本県指定史跡となり、玉名郡民体育祭(陸上競技)では、総合優勝し見事2連覇を達成いたしました。

また、行政分野では、定住促進のため県内初

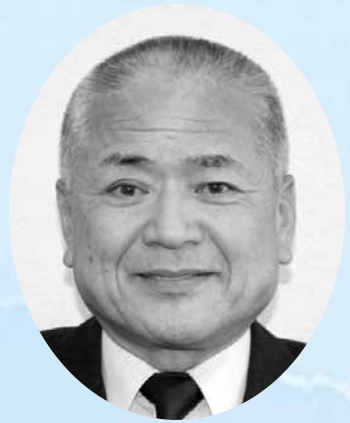
となる新築住宅等の固定資産税減免条例が議会でも可決され、和水町における人口減少を少しでも阻止できればと考えております。

学校の統廃合問題など、和水町が直面している問題は様々ありますが、町民の皆様方の御意見を拝聴しながら、具体的方向性を決めていきたいと思っております。

そのためには、本年も町民の皆様との「対話によるまちづくり」を基本とし、笑顔と活気のあるまちづくりを目指してまいりたいと決意しているところであります。

本年も町政に対し一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって実りある1年になりますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

明けまして
おめでとうござい
ます



議長
福山 精一

2008年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は町民の皆様の暖かいご理解とご協力を戴き議会活動に精励できました事に対し、心から厚くお礼申し上げます。

また、町民の皆様には日頃から和水町の発展に多大なご協力を賜り感謝に堪えません。この機会に厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご案内のとおり、近年の社会情勢は激動の一途を辿り、これに対応する和水町の行政需要も複雑多様化しております。

過疎、過密問題はもとより、環境の保全、人口構成の高齢化、情報化社会の進行等地方行政を取り巻く環境は誠に厳しく、熊本県内においても各地域により、その抱える問題は必ずしも一様ではありません。

平成12年のいわゆる「地方分権一括法」の施行によって、国の関与等の見直しや機関委任事務の廃止などが行われ、理念的には国と地方の関係は対等、協力の関係となりました。しかし、実際には地方固有の事務に対しても国による関与、義務付けが残り、地方の自主性、自立性は必ずしも高まっていはいないように思います。

和水町の向こう10年間に渡る「基本構想」が出来上がりましたので、それにそって和水町の町民の誰もが住むことに誇りに思える、活気に満ち溢れた環境づくりを目指し、諸事業の推進に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

議会といたしましても、これらの事業を推進していく上で基本構想の計画に向けて、一層の努力を傾注して参る所存であります。

皆様におかれましても、和水町の施策にご理解を賜り、一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

和水町の財政は誠に厳しいものがありますが、町民の皆様が心底から住んで良かったといえる、和水町を実現するために議会議員一同一生懸命努力してまいりたいと思います。

終わりに、町民の皆様のご健康とご健勝を祈念し、本年が最良の年でありますように心からお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。



病院長
坂本 泰雄

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は国の景気が回復したと言われながら格差社会は更に拡大し我々庶民の生活、地方財政は低迷したままの一年だったような気がします。

医療に関しましても国の医療費抑制政策が押し進められ、地方の医師不足が解消されない状態に対し、自治体病院の縮小あるいは統廃合が計画され、療養病床の削減、後期高齢者の自己負担増が現実化しようとしております。

このような医療を取り巻く厳しい環境ではあります。私達町立病院職員一同、経営の改善に努めながら、行政や他の福祉施設と連携を密にし、健康で安心して暮らせる町作りを目指して皆様に満足していただける医療を提供させていただきます。

本年もご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。